

はしがき

ラルゴは、「インターネット上で活動する研究サークル」として全国からメンバーを募り、2005年7月から1年間研究活動を行ってきました。

本書の論文は、その成果で、2006年6月10日(土)～11日(日)に北海道札幌市で行われた第24回全国要約筆記問題研究集会 in 札幌で発表したものです。

「パソコン要約筆記の特性と厚生労働省カリキュラムに準拠した養成講座の検討、初心者にわかりやすい講習をめざして『IPtalk9J シリーズの提案』」は、第6分科会(パソコン)で栗田が発表しました。模擬講座のアシスタントとして、福原、橋本が参加しました。

「ユビキタス社会における情報アクセシビリティ、インターネットを活用した『どこでも情報保障』の提案」は、第3分科会(情報アクセス権)で矢野が発表しました。在宅入力情報保障の実演に、樋口(コーディネーター)、鷺澤、片野、杉本、五十川、槇山の6名が全国各地の自宅から入力者として参加しました。会場の機器類の手配などを脇坂が担当しました。

会場のネットワーク機器設定は、加地さん(愛媛大)が担当しました。ネットワークトラブルに関し、村田先生(愛媛大)と岩元さん(愛媛大)に電話でアドバイスをいただきました。在宅入力情報保障の実演は、愛媛大学総合情報メディアセンター村田研究室のネットワーク機器を利用させていただきました。

研究に参加したメンバーは、次の通りです。

栗田(神奈川)、鷺飼(埼玉)、福原(秋田)、鷺澤(長野)、槇山(兵庫)、矢野(愛媛)、樋口(宮城)、橋本(福岡)、杉本(神奈川)、池田(山口)、田島(岡山)、片野(新潟)、五十川(大阪)、渡辺(兵庫)、藤原(島根)、大城(鹿児島)、塩濱(大阪)、山田(新潟)、脇坂(北海道)、合田(福岡)、大橋(大阪)

NPO長野サマライズ・センター殿の御厚意で、このような論文集を出版できたことに感謝いたします。

06年6月

ラルゴ会長 栗田